



# Joyful Naturalist



## Contents

- Topics
  - ＜特集1＞鶴見川源流子どもキャンプ
  - ＜特集2＞岡上特集～密着！岡上24時～
- NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
- 鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
- 7月、8月の活動報告
- 9月、10月の活動予定

No.171

## ★鶴見川源流子どもキャンプ



8月1日(土)から一泊二日で、npo鶴見川源流ネット主催、npoTRネット共催、町田市協賛、小山田小学校協力、町田市青少年健全育成忠生第二地区委員会協力、小山田緑地協力、で「鶴見川源流こどもキャンプ」を実施いたしました。昨年と同様、町田市の斡旋で東京都の「多摩・島しょ子ども体験塾市町村助成金」を得て実施いたしました。参加者は昨年の23名に対して保護者を含めて45名の申し込み、当日キャンセルもあり38名、スタッフ関係者を含めると84名の体制となりました。

開校式の後、最初のプログラムの杉谷戸の展望広場出かけ、鶴見川の源流流域の全景を眺望しました。午後は、上小山田杉谷戸地区調整池での魚とり体験で、ライフジャケットを着用、川に入りタモ網を駆使して魚とりを開始しました。ほとんどのこどもたちが初めての体験なので、スタッフがタモ網の使い方を指導。泥を嫌がり池の中に入ることを拒否していた女の子もいつの間にか夢中、すくい上げたタモ網の中の泥を素手で探っていました。あっという間に時間は経過し、「終わり！」の合図に「えっ、もう？」とむずがるこどもたちをなだめて終了。帰校後、スタッフと保護者はテント19張を設営しました。夕闇せまる校庭でシートを敷いて夕食のカレーをご馳走になりました。食後、小山田緑地へナイトツアーへ。例年は、夜遅くなっても寝ない子がおり、スタッフ全員寝不足となるのですが、今年は静かな夜を過ごしました。一晩中鳴く鶏も静かでした。

2日目、朝食後、雨が降り始めたため、予定の小山田緑地でのザリガニ捕りは中止。小山田緑地からのレンジャー職員の出張をいただいて、教室内で生きものの学習会となりました。子ども達の飽きるころ、学習成果を生かして三択クイズ形式で生き残りゲーム。勝ち残ると景品がもらえるので大いに盛り上がりました。ソーメン付きの昼食後は、閉校式。2日間を通じて、気分の悪くなったこどもも数名いたものの、大きな事故もなく無事終了しました。学校職員のみなさま、スタッフのみなさま、関係者のみなさまありがとうございました。特に、小山田小学校には、場所を提供いただいた上、校長先生以下3名もの先生にも付き添いいただきました。重ねて御礼申し上げます。

【NPO法人鶴見川源流ネットワーク事務局長 小林美晴】